

平成 20 年 3 月 27 日

各 位

会 社 名 全 日 本 空 輸 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 山元 峯生
(コード番号 9202 東証・大証各第 1 部)
問 合 せ 先 総 務 部 長 久 松 完
(TEL . 03-6735-1001)

固定資産の取得に関するお知らせ

当社は、本日 2008 年 3 月 27 日（木）に開催した取締役会にて、三菱重工業株式会社が開発を計画している小型ジェット機「MRJ」の事業化が決定した場合、これを導入することを決定致しました。

同機の事業化が正式に決まった場合、ANA は世界のエアラインで、MRJ のはじめての発注会社（ローンチカスタマー）となり、今後の MRJ の開発計画に積極的に参画し、お客様のニーズを新しい航空機に反映させていくことと致します。また、ANA のフリート戦略において、マーケット動向に応じた機種統合を更に進めてまいります。

記

1. 選定機種 MRJ（ミツビシ・リージョナル・ジェット）
 * 国内線仕様で 90～100 席クラスの小型ジェット機
2. 導入機数 15 機（他に 10 機を仮発注）
3. 導入価額 概算で 600 億円程度
 （確定発注分のカタログプライスベース）を見込む
4. 導入時期 2013 年度以降を予定、具体的な時期は今後決定の予定
5. 選定理由 中長期的な需給適合の強化を推進していくために、2013 年以降の
 新型機のフリート導入に向けて、「新機種選定委員会」を設置し、安
 全性・信頼性はもとより経済性・快適性各方面より検討を重ねた結
 果、決定致しました。なお、選定に際しての前提は以下のとおりで
 す。
 ①現行小型ジェット機やプロップ機を凌ぐ信頼性・経済性・快適
 性が確保できること。
 ②小型ジェット機とプロップ機の間機種で国内線仕様では 90～
 100 席クラスであり、国内線事業で需給適合に見合った機種構成
 が可能となること。
6. その他 上記計画に大幅な変更が生じた場合は改めてお知らせ致します。

以 上